

電気料金等エネルギーコスト 負担に関する調査アンケート結果

2023年5月



協同組合 島根県鐵工会

Shimane-ken Tekkokai

A Cooperative for Shimane's manufacturing industry

会員サポート推進室

【 調査概要 】

(1)調査の目的

昨今の電気料金等エネルギーコストの上昇に関する負担は非常に重くのしかかっており、一方で価格転嫁は実行することは様々な要因により難しいという状況を調査、詳しい実態を把握、共有し、組合として行政等に適切な負担軽減策をご検討いただくため。

(2)調査の対象

全組合員

(3)調査の期間

令和 5 年 4 月 21 日(金)～ 令和 5 年 5 月 2 日(火)

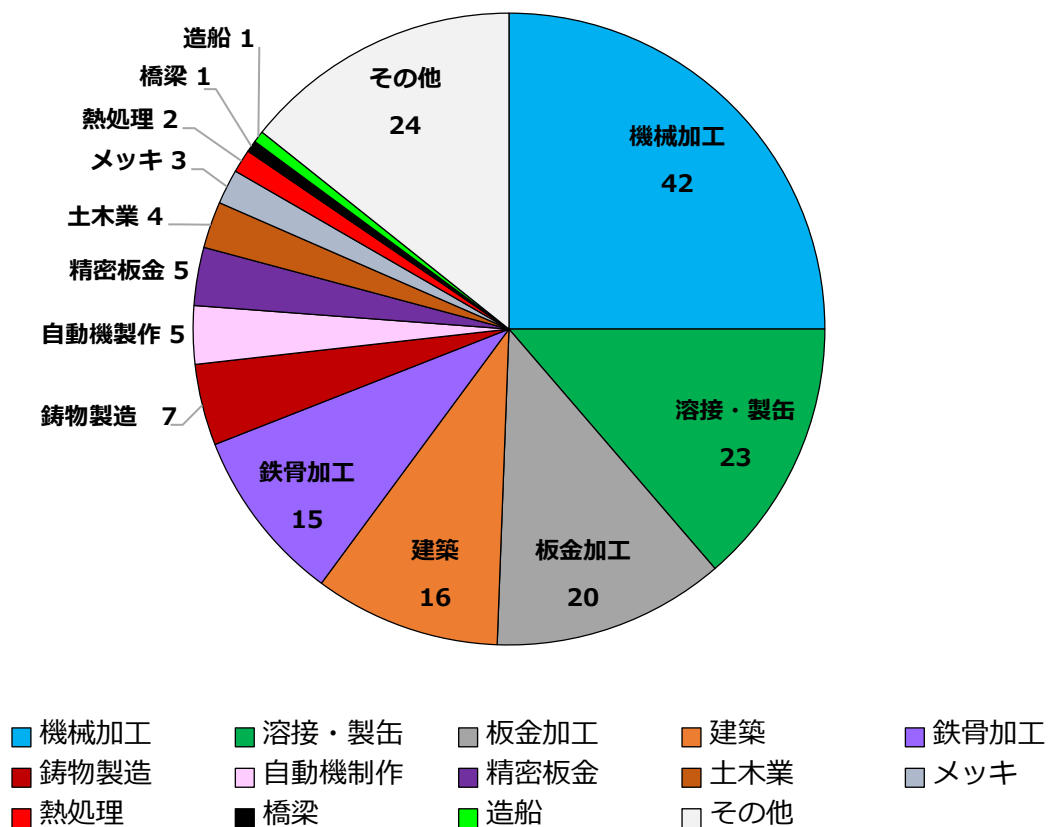
(4)調査の方法

全組合員にアンケートを郵送し、回答用紙を FAX 送信、
またはインターネットの回答フォームに入力いただいた。

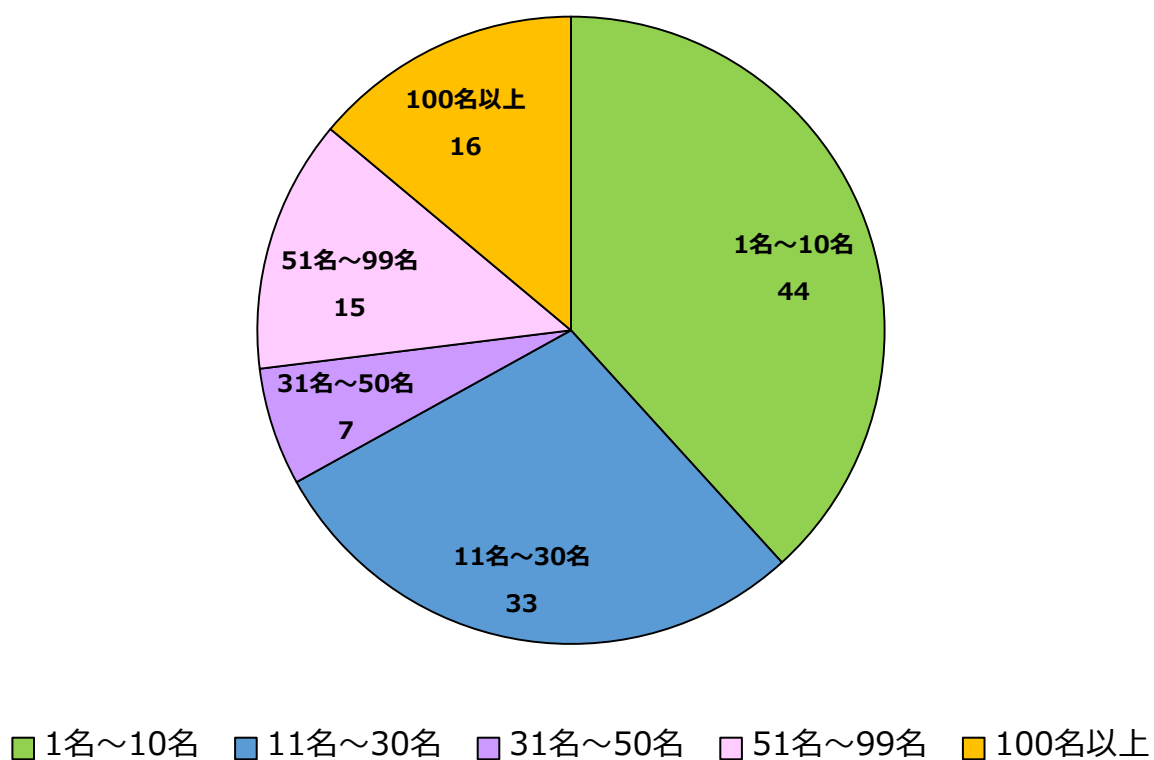
(5)回答数・回収率

390 社への調査依頼に対して 115 社から回答 回収率 29.5%

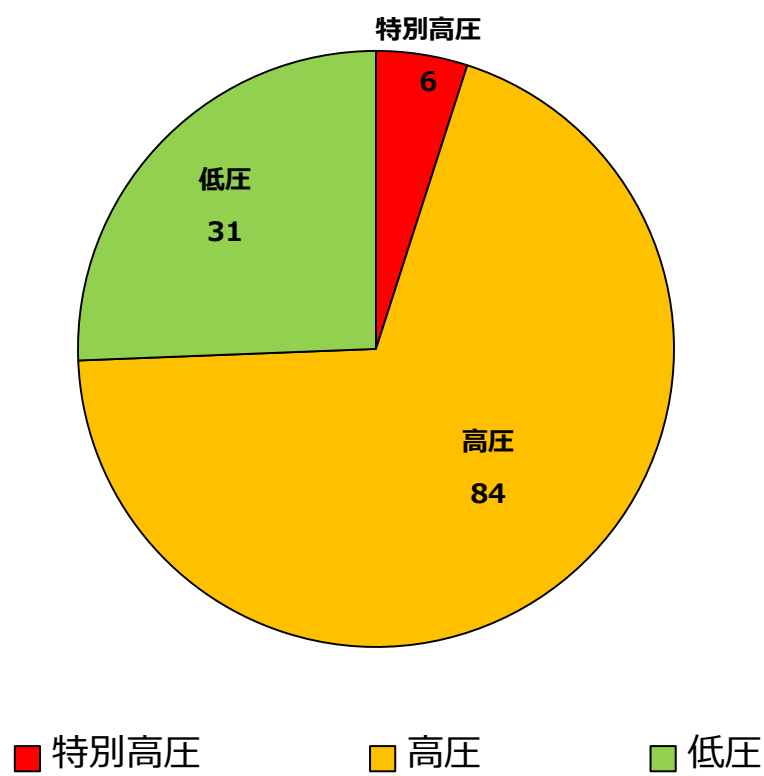
1. 業種について（複数業種回答）



2. 従業員数について

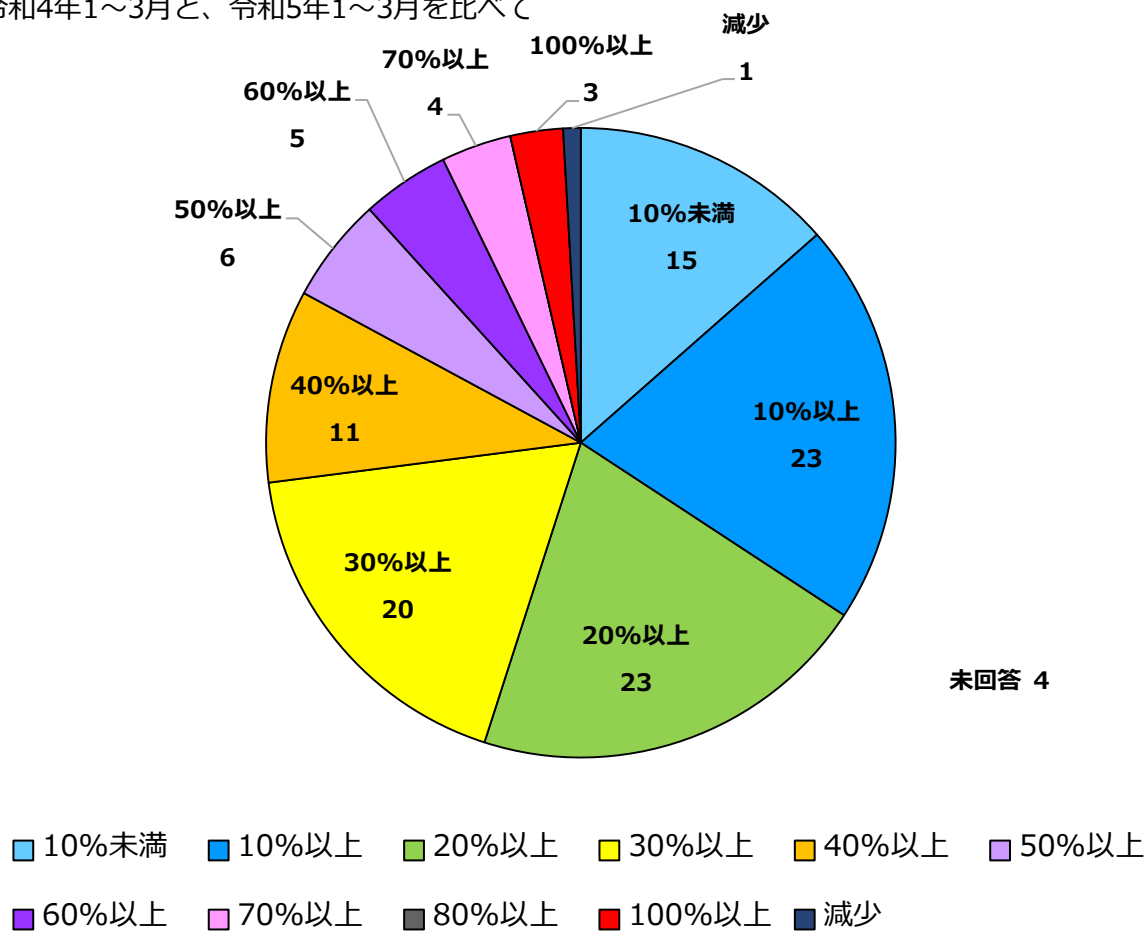


3. 契約電力について

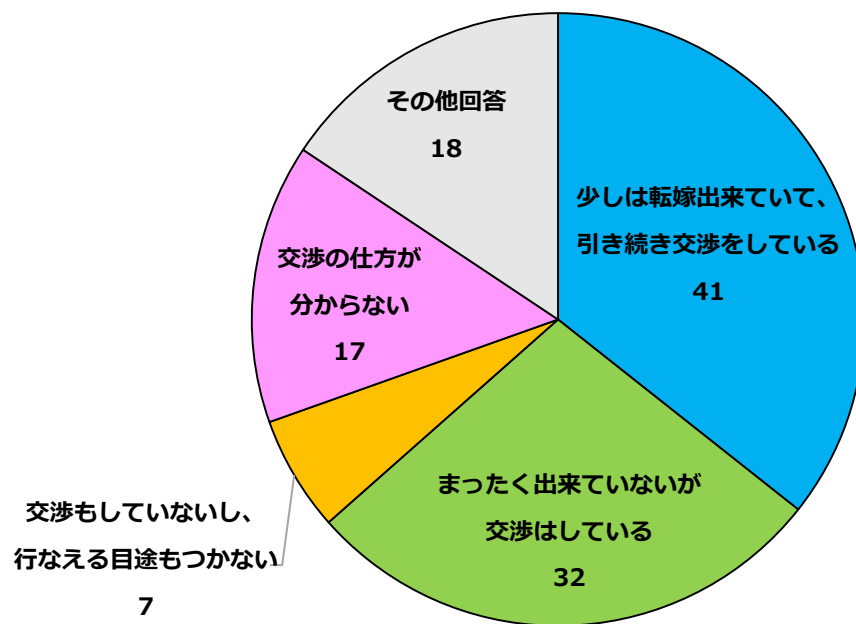


4. 電気料金の負担増の割合について

・令和4年1～3月と、令和5年1～3月を比べて



5. 電気料金の値上げコスト増に伴う価格転嫁について



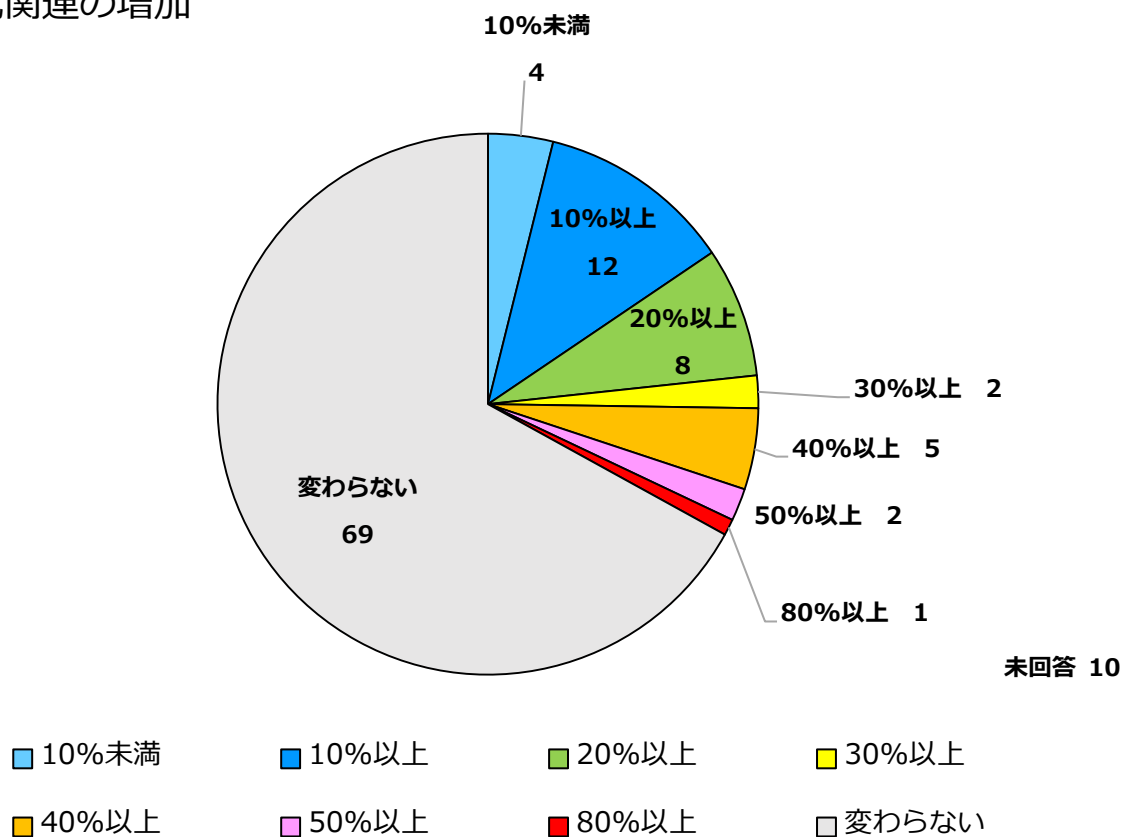
- ① 少しは転嫁出来ていて、引き続き交渉をしている
- ② まったく出来ていないが交渉はしている
- ③ 交渉もしていないし、行える目途もつかない
- ④ 交渉の仕方が分からない
- その他回答

●その他回答

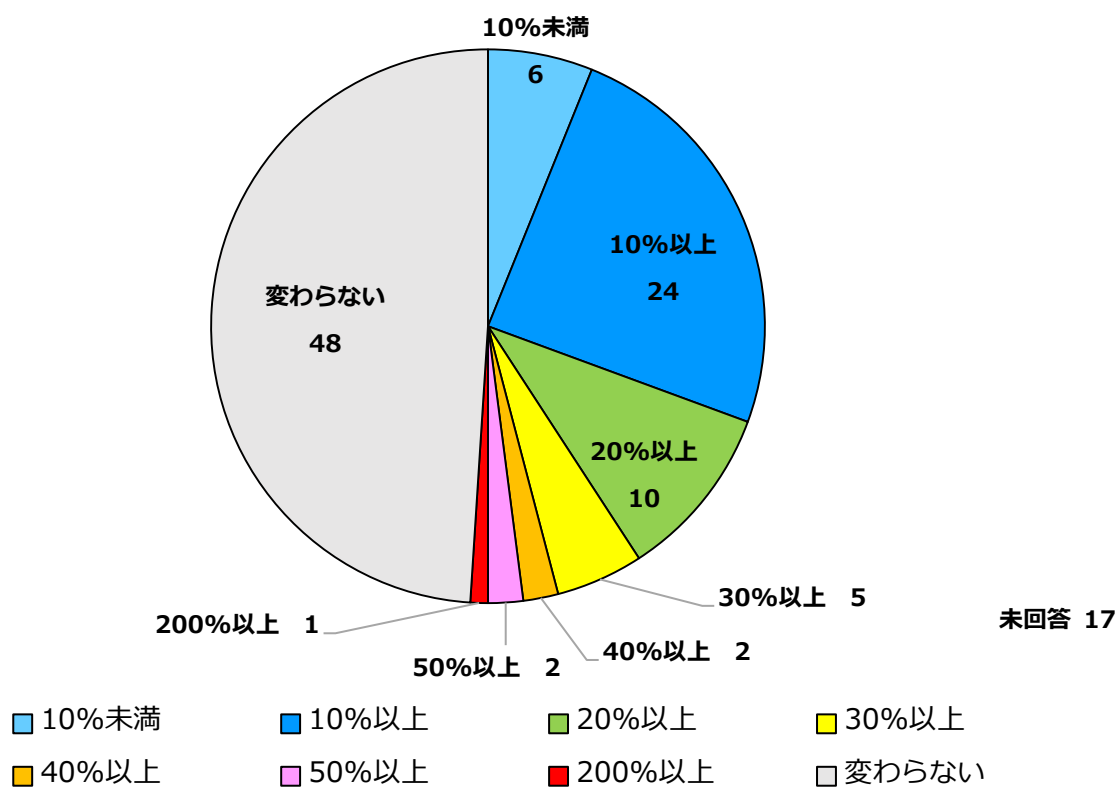
- ・ 売上に対する割合が少ないので影響がほとんどない
- ・ 価格転嫁なし
- ・ 交渉もしていない
- ・ 電気料金という名目では価格転嫁しにくい（具体的な数値化が困難なため）ので、別の名目で行っている。まだ一部でしかない
- ・ 価格転嫁するほど負担になっていない
- ・ 未回答

6. 電気料金以外のエネルギーコストについて

・ガス代関連の増加

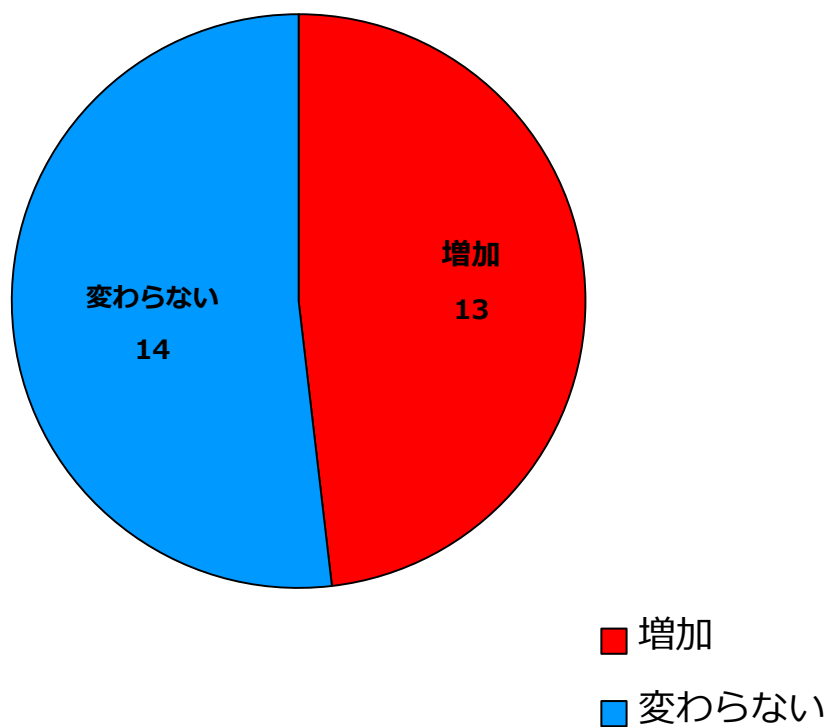


・燃料代関連の増加



6. 電気料金以外のエネルギーコストについて

・その他エネルギーコスト（自由回答）



・増加しているその他エネルギーコスト等について（自由回答・順不同）

コークス	35%
鋼材、購入部品等	約 20～30%
レーザー加工、溶接用ガス	20～30%
ガソリン代	50%
廃棄物処分代	15%
鋼材の値上りにより治具費、工具費の値上り	30～35%

7. その他、事業活動を行うにあたり、負担が増え、経営を圧迫していると感じるものについて (自由回答・順不同)

工具消耗品費

鋼材、薬品、消耗資材全般の価格高騰

令和5年4月より電気料金が大幅な値上げとなる。
燃料調整費は一となるが高圧の使用料金の1KWの料金が11円から29円となるので、4月度の請求額を見る必要がある。

材料、資材、製品等、全て増加

薬品代の値上り

価格に転嫁しづらい消耗品や備品等の値上げ

仕入の際の送料負担、運送費の増加、ガソリン代の増加等。

また、人件費については社会保険料の増加が負担となっています。

労務費

原材料、副材料、運搬費、ほとんどすべての物の値上がり

鋼材、電材品等の値上げ

鋼材費、工具費、人件費

材料費(アルミ、真鍮、銅、段ボール)

事務系ソフト、CADソフトのサブスクリプション契約料金が軒並み値上げされてしまい
経費負担が増加

原材料

材料の値上げ

チャージの転嫁が見込めない

最賃の上昇幅が大きく吸収できない。自動車の低調での受注減。

材料費の高騰、人材不足

材料費の高騰

原材料費の高騰(亜鉛鉄板、鋼材類)

各保険の値上り

仕入する材料・副資材当すべての物が値上りし、多少の価格転嫁は出来ているが、
100%ではないので経営は苦しい。

消耗品の値上げ

外注費

特にありませんが、資材価格は値上りしています。

販管費に関する費用（営業車のガソリン代）

潤滑油、切削工具、鋼材、人件費…挙げればきりが無い

「諸般の事情により・・・」の便乗？値上げだらけで負担が増えている。

人材不足

人件費の増加、外注工賃の増加

コロナ禍などによる全般的な物不足と円高局面が続いてエネルギーコストのみならず諸資材全般が高騰し経営を圧迫している。

電気料金については4月以降基本料金と使用料金の値上げが実施に移され

更なる料金負担増も苦しいが、これにより購入諸資材の高騰を誘発することが懸念される。

コロナ融資返済が本年度10月より始まる。

鋼材の値上り

全ての部材について値上がりしている事

人件費

材料（鋼材）が短期間で何回もの値上り、客先への毎度の交渉が出来かねる。

（鐵工会購入）材料

2年前と比較すると製造業が必要とするエネルギー資材（電気、ガス、油類）、原材料費等の値上りは、60%以上となっている。

納入先への値上げ申請をしても全額は無理である。

結局は我々製造元の中小企業の負担率が多くなっていく。

高くなった製造原価の購入品の消費税負担も少なからずあると思う。

電気代や材料代の値上げが続いているが契約金額が上がらない。

材料費 工具の高騰

材料代

原材料費の高騰

【本件に関するお問合せ先】

協同組合島根県鐵工会

会員サポート推進室

TEL：0852-24-2157

FAX：0852-24-2161